

「北方領土教材」指導案（高等学校・日本史）

埼玉県北方領土教育者会議

学年、教科	高等学校全学年、地理歴史科
学習指導要領の内容	(3)ウ、(4)ア・イ、(5)ウ
科目・単元	日本史B・「幕藩体制の動揺」「近代国家の成立」
利用のタイミング	授業の導入、または授業のまとめ
利用する教材	北方領土検定：歴史編 北方領土ワークシート① 教科書：日本史B 副教材：各種資料集・図解、地図帳等
利用のねらい	①教材の部分使用（10～20分程度）により、興味関心を引く「授業の導入」や分かりやすい学習事項の整理として「授業のまとめ」にする。 ②主に江戸時代以降の日本による蝦夷（北海道）、千島、樺太の治世、ロシアとの数度にわたる条約締結及び日ソ中立条約を無視した侵略行為、及び連合軍との条約等を学ぶ。 ③歴史的事実を踏まえ、北方領土は「日本固有の領土」であることを正しく認識する。
学習活動の流れ	(1) 授業導入として利用する場合 ①資料を読みながら、「検定」歴史編の問1～10と「ワークシート①」を20分間で解答させる。 ②模範解答をプロジェクター等で投影し、生徒は隣の生徒とペアになり、答え合わせを行う。 (2) 授業のまとめとして利用する場合 ①ペアになり、資料を見ずに10分間で解答させる。 ②模範解答をプロジェクター等で投影し、資料を配り教員が若干の説明を行う。
指導上の留意点	①北方領土に興味関心をもたせるように留意する。(例、最新の新聞記事を紹介したり、島に学校があるかなど発問したりする。) ②鎖国から開国への動きなどを年表にまとめさせるとよい。 ③教科書に掲載されていない事項等については発展学習として、学校図書館等の利用により、調べ学習をさせるとよい。

令和3年3月